

1月22日 財政福祉委員会（山口清明議員・柴田民雄議員）

請願審査 「国保の短期証発行をやめよ」請願などが「不採択」

1月22日の財政福祉委員会で「国保・介護・年金」に関する2件の請願が審査されました。

「年金削減をやめて」も不採択に

日本共産党は請願2件の採択を求めましたが、「国民健康保険の資格証明書・短期保険証の発行や、無理

な差し押さえはやめる」の項目は不採択になりました。

高齢者の生活を脅かす年金額の引き下げにつながるとして提出された「マクロ経済スライドの適用を中止することを求める意見書提出に関する請願」も自・公・民・減の反対で不採択となりました。

財政福祉委員会での請願審査の結果（2018年1月22日）

請願名（請願者）	請願項目	各党派の態度					結果
		共	自	民	公	減	
国民健康保険制度、高齢者医療制度及び介護保険制度の改善を求める請願（名古屋の国保と高齢者医療をよくする市民の会）	1 国民健康保険料を大幅に引き下げる 2 減免制度を拡充し、該当する全世帯を自動的に減免する 3 0歳～18歳は均等割の対象としない						保留
	4 国民健康保険の資格証明書・短期保険証の発行や、無理な差し押さえはやめる	○	●	●	●	●	不採択
	5 後期高齢者医療保険料の9割軽減などの継続を国に求める 6 介護保険料を引き下げ、保険料及び利用料の独自の減免制度を 7 要支援者が今までどおり介護サービスを受けられるようにする						保留
マクロ経済スライドの適用を中止することを求める意見書提出に関する請願（全日本年金者組合愛知県本部名古屋市内協議会）	1 高齢者の生活を維持するために、マクロ経済スライドの適用を中止する	○	●	●	●	●	不採択

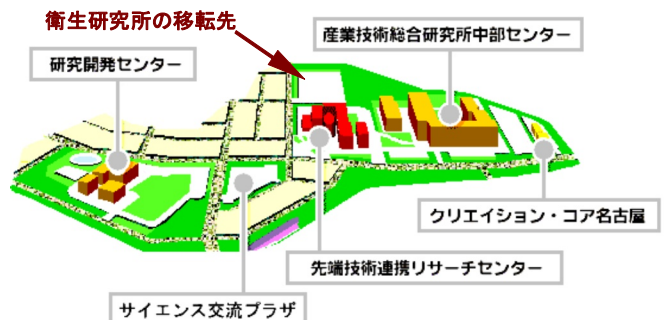
○=賛成 ●=反対 共：日本共産党 自：自民党 民：民進党 公：公明党 減：減税日本ナゴヤ

衛生研究所に生活衛生センターの機能を組み込んで移転・改築

1924年に開設され、現在地に1966年に移転し50年以上経過した耐震性が不足する衛生研究所と、1940年に防疫所として開設され1955年に千種公園南の現地に移転した生活衛生センターの機能を統合して、サイエンスパークに2019年度末開設、約42億円で新しい衛生センターを整備することが、委員会で説明されました。

施設規模は現衛生センターの延床面積が5373㎡、生活衛生センターは1498㎡のところ、新施設は6262㎡と

なり、現在委の業務に加えて、新たな機能として遺伝子解析部門と情報発信部門が強化されます。



2月5日 土木交通委員会（岡田ゆき子委員長・高橋ゆうすけ委員）

堀川上流部でのヘドロ除去を

2月5日の土木交通委員会では「新堀川の上流部に堆積しているヘドロの除去を求める陳情」が審査されました。

新堀川は、悪臭の原因物質が硫化水素である可能性が高いことが判明し、川底に酸素が少ないことが、硫化水素を生成する要因の一つです。河床の状態を調査した結果、上流部と下流部でヘドロを含む堆積物が確認され、特に下流部での堆積が顕著でこれが流れを阻

害し、貧酸素状態となっているとして、下流部のヘドロ除去を優先しています。日本共産党は上流部でのヘドロ除去も同時に行うよう求めました。



閉会中の委員会での陳情審査の結果

委員会	開催日	陳情名	結果
土木交通委員会	2018年2月5日	新堀川の上流部に堆積しているヘドロの除去を求める陳情	ききおく